



広報かわねほんちょう



# 11川根本町

2020  
No. 181

このまちがもっとも～っと好きになる



特集「想い」—守り継がれる茶業—  
表紙 町立保育園「親子給食試食会」





# 茶業が抱える多くの課題 産地賞が町にもたらすものは

茶価の低迷による生産者の収益減と後継者不足など多くの課題を抱える茶業界。  
日頃から農家を支援する中川根営農経済事業所の松浦雅晃事業所長に話を聞きました。



産地賞の受賞は大変喜ばしいことです。農家の方々を中心に、茶業関係者の努力が実を結んだ結果だと感じています。一般の方たちには、この榮譽の偉大さや重要さを感じて欲しい、そのために我々農協としても、行政や茶商などの関係団体と協力して、盛り上げていきたいと思えます。

しかし、川根本町に限らず、静岡県の茶業界は茶価格の低迷による生産者の収益減、そのことに伴う後継者不足、放棄茶畑の増加など課題は少なくありません。また、消費者の食生活の変化に伴う「お茶を飲む習慣の変化」も課題の一つに挙げられます。若い世代の中には、急須でお茶をい入れて飲むという人が少なくなり、手軽に飲める

ペットボトル飲料の方が一般的になりました。リーフ茶の需要がペットボトルのお茶よりも少ない現在の市場では、農家がどんなに質の良いお茶を生産しても適正な価格で販売されない現状があるのです。このような状況を一産地の力で変えることは大変難しく、農協としても歯がゆさを感じています。

それでも、今回の産地賞受賞の話題は、そんな茶業の抱える課題を改めて見つめ直す良い機会になるのではないかと思います。

大切なことは、この町だけでなく全国規模で産地が協力して茶業の再生に取り組むこと。その中で、川根茶の良さを飲む人に伝え続けること、受け継いできた川根茶の伝統と技術を継承して次世代の若い農家につないでいくことが重要です。

我々も茶業最盛期のような茶価格に戻ることを期待しながら、就農希望者が就農しやすく、既存の農業者が安心して働ける環境作りを使命感を持って取り組んでいきたいと思えます。

## 茶時の風景

新緑が芽吹き、お茶の爽やかな香りが町を包んだ五月初旬。

町内では、各地で茶の摘採、製造が行われました。

- 1 製茶工場内の様子。製造が品質を左右します。
- 2 摘採で活躍するお茶摘みさんの賑やかな声は風物詩です。
- 3 茶刈機の音も各地から聞こえます。
- 4 一芯二葉で丁寧に摘まれるお茶。



# 特集「<sup>おも</sup>思い」 —守り継がれる茶業—

本町の基幹産業の一つである「茶業」。後継者となる人が少なく、未来にその伝統や技術を引き継ぐことができるかが課題です。本号では今年の全国茶品評会で「産地賞」を受賞したことを受け、茶業関係者の思いに迫り、川根茶を未来に残すためには何ができるか考えます。

## 7年ぶりの快挙。産地賞受賞

今年、鹿児島県で行われた審査会において本町が普通煎茶4<sup>キ</sup>の部で「産地賞」を受賞しました。新型コロナウイルス感染症の暗い影を一掃する明るい話題が町にもたらされました。

日本茶業の将来を展望し、茶業の一層の発展のために行われる全国茶品評会は今年で74回目の開催となりました。鹿児島県南九州市で行われた審査会には、全国から900点以上が出品され、普通煎茶4<sup>キ</sup>の部で、相藤農園・相藤直紀さんが最高位の農林水産大臣賞を獲得。他の出品者も上位入賞を果たすなど華々しい成績を収めました。入賞者の方たちに話を伺うと皆さん口々に「自分の力だけでは到底及ばない名誉。支援してくれた関係者の皆さんに感謝したい」と笑顔で振り返りました。

また、成績優秀な市町村に贈られる「産地賞」についても、普通煎茶4<sup>キ</sup>の部で、平成25年以来7年ぶりとなる「日本一」の栄冠を獲得しました。

新型コロナウイルス感染症による影響が産地を襲い、暗い影を落としていきましたが、今回、その雰囲気吹き飛ばし、再び川根茶が高品質であることを証明するこの上ない話題に、町は喜びで包まれました。

### 【第74回全国茶品評会 審査会結果】

普通煎茶4 <sup>キ</sup> の部・1等		普通煎茶10 <sup>キ</sup> の部・1等	
1席	農林水産大臣賞 相藤農園 相藤 直紀 さん	6席	全国茶生産団体連合会会長賞 丹野園 丹野 浩之 さん
2席	農林水産省生産局長賞 川崎 好和 さん		
4席	全国茶生産団体連合会会長賞 相藤園 相藤 令治 さん		



普通煎茶4キ口の部 1等1席  
農林水産大臣賞

# 品評会は栽培と製造技術向上の場 自分はまだまだ。もっと良いお茶を

相藤農園 相藤 直紀さん (藤川区)

## 皆さんの支えあってこそ

正直驚いています。まったく予想していませんでしたので。相藤農園は曾祖父から父まで大臣賞を受賞していますが、私自身の長年の目標は「1等」に入賞することでした。今回の結果を受けて、少し実力がついてきたのかなと実感しています。それでも気象条件や摘採時期などの様々な要因がうまく重なったこと、お茶摘みさんと農協、行政など皆さんの支えがあってこそ最高の受賞だと思っています。

## 品評会は技術向上の場

仮に自分が納得するお茶ができたとしても、必ずしもそれが良いお茶とは限りません。良いと思うお茶にも必ず反省点や改善点があります。自分一人では知りえない品質向上のヒントを品評会の審査結果が教えてくれるのです。次年度のお茶作りに活かすための場、そして自分自身が成長できる場が品評会なのです。出品を続けて、品質向上のために試行錯誤を繰り返して、飲む人が「美味しい」と言って

くれるお茶作りは先代から受け継いできた相藤農園の伝統なのです。

## 先輩たちから学ぶ

お茶作りで大切なことは、日々変わる気象条件に合わせて細やかな茶園管理を行うことです。摘採前になれば毎日茶園に通い、新芽の状態を確認しますが、春先の冷え込みで伸び悩んだときはさすがに心配になり、先輩たちに相談しました。そのように悩んだ時は、お茶について豊富な経験をお持ちの先輩たちに技術的な指導をお願いしています。

お茶に携わり始めた頃は、今ほど周りの意見を聞くことはなかったと思います。一番身近に父という師がいたので、日常生活の中で多くのことを学んできたからです。父が亡くなった時も、漠然と「一人でもできるのではないか」という自信がありました。しかし、現実には甘くありませんでした。父亡き後の数年間、品評会でも入賞から遠ざかり、実力不足を痛感していました。そんな時、悩む私を助けてくだ

さったのが先輩たちや農協などの関係者の皆さんです。惜しみなく技術や経験を教えてくれる先輩たちの存在は、私の様な若い農家にとっては、何よりも変えがたいものなのです。

## 産地賞もたらすもの

川根本町のお茶は7年ぶりに「産地賞」を獲得することができましたが、この数年間は大変厳しい状況でした。年々出品する生産者の方も減って、寂しさを感じていました。「また産地賞を取りたい」と茶業関係者と話をしていたので、今回の結果は本当に喜ばしいことです。ただ最終的には作ったお茶が確実に消費者の元に届くことが産地としての目標になると思っています。そのためには、茶商はもちろん、行政や商工業、農協などと協力して川根茶を盛り上げていく必要があります。産地賞という称号をいかに利用するか、今後の川根茶産地が存続していく上で、重要なことなのではないでしょうか。

## ~interview-家族の声~



相藤 節子 さん

## 支えてくれた皆さんに感謝したい

代々受け継いできた伝統や技術を守り継ぐことは簡単なことではないです。納得のいくお茶が作れず悩む息子の姿を見てきました。それでも多くの皆さまの支えもあって、お茶に真摯に向き合い、品評会への挑戦を重ねてきました。

周囲の人たちも私たちのことを理解し、助けてくれました。お茶

摘みさんたちの協力も大きく、家族の力も大きかったと思います。

応援してくれた地域の皆さんや関係者の方が自分のことの様に喜んでくれたことが本当に嬉しかったですし、この受賞を先代たちも喜んでくれているのではと思うと、私たちの心も落ち着きます。



▲ 毎年お茶摘みさんたちが出品茶の摘採を行う。  
▶ 自宅の製茶工場でお茶の蒸し具合を確認する直紀さん。







普通煎茶4<sup>キ</sup>の部 1等4席  
 全国茶生産団体連合会 会長賞  
 ~interview~  
 入賞者

## 第三者に認められることが 川根茶ブランドの存続につながる

相藤園 相藤 令治さん (藤川区)

**皆さんの支えが力に**  
 品評会に出品し続けることは本当に大変なことです。摘採前には毎日茶園に足を運び、日々変わる気象条件に合わせて、細やかな管理をしなければ良いお茶はできません。自分が納得したもので、審査員には評価されないこともあります。今回の入賞は、私だけの力ではなく、地域の皆さんや家族、農協、行政の方たちのご支援があったからこそだと思います。

**お茶は人間に似ている**  
 私がお茶作りで思うことは、「お茶は人間を相手にすることと同じ」だということ。手を掛

ければ掛けただけ味や香りで応えてくれるし、手を抜けば、絶対に良いお茶はできません。毎日お茶に触れ、お茶の声を聞き、お茶が何を欲しているか考える、その繰り返しが必要なんです。

**川根茶産地の未来**  
 川根茶の良さを客観的に評価してもらえない場合は品評会しかありません。先輩から引き継いだ技術や伝統を次の世代に残していくために、出品し続けることは義務だと感じています。全国の大きな品評会だけでなく、小さな品評会であっても、川根茶を宣伝する良い機会になります。ぜひ若い農家の皆さんには挑戦して欲しいと思います。

産地賞を受賞しても、川根茶の存続に繋がるわけではありません。この栄誉を茶農家を中心となり、行政や農協、商工業と連携を取りながら、産地を揚げて盛り上げていく必要があります。川根茶を1回でも味わってくれば、他の産地にはない良さを感じてもらえると信じています。今後の宣伝活動が川根茶存続の鍵になるのではないのでしょうか。

普通煎茶4<sup>キ</sup>の部 1等2席  
 農林水産省生産局長賞  
 ~interview~  
 入賞者

## 若い農家には茶作りの本質を見極めて挑戦して欲しい

川崎 好和さん (藤川区)

**関係者の皆さんに感謝を**  
 新型コロナウイルス感染症の影響で、全国茶品評会の開催が危ぶまれていた中、尽力された南九州市や主催者、そして私の出品を支援してくれた農協やお茶摘みさん、行政などの関係者の方々に感謝しています。

**生涯お茶に携わりたい**  
 私は皆さんから「いつまでお茶を続けるの?」とよく聞かれます。そんなときは決まっています。「100歳までやる」と答えています。これは先輩である元県茶業試験場長の岸本浩志さん(水川区)の「川根本町の様な小さな産地は、全国茶品評会に

出品し続けなければ忘れ去られてしまう。良い成績を残せなくても出品することに意義がある」という教えが私の原動力になっているからです。

**茶作りに好条件が揃う町**  
 この町の気象、土壌条件は高級煎茶の栽培に最も適しています。全国的に見てもこのような好条件の産地はないと思います。この環境を活かし、面積的に規模を拡大することができない山間地であっても、労働集約型茶業で他産地にはできない茶作りができると思います。

**お茶作りの本質を見極める**  
 時代がどんなに変わろうとも、物事の本質は変わらないと思います。お茶作りも同じです。私はお茶作りから多くのことを学んできました。お茶は嘘はつかないの、人間が真正面から向き合えば、必ず良いお茶ができる。こんな想いを若い茶業者と共有しながらこの町で挑戦を重ね、川根茶の名声が全国に知られるように、全ての関係者と共に頑張っていきたいです。

~interview-家族の声~



相藤 佐枝子 さん

### 主人と一緒に川根茶を守っていききたい

今年も、相藤園のお茶を楽しみに注文してくれたお客様がたくさんいます。そんな方々の「今年のお茶も美味しかった」という声を聞くとすごく励みになります。主人のお茶をインターネットで販売することが私の仕事なのですが、次年度のお茶作りに反映させるために、お客さんからの声を主人に伝えています。大きく変える部分はないけど、お客様の声は相藤園にとってはなくてはなら

ないものなのです。

実は主人には「お茶は大変だからもう止めたらどう?」と聞いたことがあります。実際、家計をやりくりする私としては本当に大変なので。でも、今では私も川根茶を途絶えさせてはいけない、なんとか残したいという気持ちが芽生えています。自分が携わる仕事を残していくために、この先も主人と一緒に川根茶に貢献できればと思っています。

### 挑戦を続ける主人を見守っていききたい

こんな大きな賞を頂けることに本当に驚いています。

お茶のことには一切の妥協を許さない主人。周囲の方々には大変な思いをさせてしまったことも多々あったと思いますが、今まで多くの先輩、地域の皆様のご指導のおかげと感謝しています。

融通の利かない主人に対し悩んだこともしばしば。「うまいご飯だけ作ってくれればいい」と言われたわりには肩に掛かることが多すぎました。

私には100歳になる母親がまだ元気です。藤川区の集落には同学年で長男の家庭に嫁ぎ、家を守っている仲間がいます。同じ境遇の私の背中を押し、いつまでも強い味方になってくれていることが本当に嬉しいです。

いつまでやれるかわかりませんが主人のお茶に対する姿勢に頼もしさを感じながら、気の済むまで挑戦し続けて欲しいと思います。

~interview-家族の声~



川崎 壽美子 さん





学生の頃、野球部でバッテリーを組んでいたという橋本さんと横道さん。「これからの川根茶を支えていきたい」と、今度は茶業で志を共にします。

～interview～  
川根茶の  
未来を支える  
若手農家

## 川根茶を未来につなげるために奮闘する若手農家の今

30代で専業農家に転職。「茶業を自分の芯にしていきたい」と話す橋本立生さん。農業に興味を持っている若い世代のために、自身が就農モデルになればと頑張っています。川根茶を未来につないでいこうと取り組む橋本さんに話を聞きました。



**時代に合わせた農業を**  
「農業は結果が目に見えるから楽しい」と話したのは、旧本川根地区の茶農家である橋本立生さん（小長井区）。有限会社香味園の大村代表に誘われ、30代で就農し、今年で4年目を迎えた若手農家の一人です。  
橋本さんに今年の産地賞受賞について何うと、その結果に喜びながらも「今は産地がお互いに協力して茶業を盛り上げる時代。産地賞をいかに利用するかが重要」と話します。橋本さんは中山間地の茶農家の団体組織「静岡山のお茶連合」の一員で、

産地の枠を超えた、新しい視点から川根茶を残す方法を模索しています。「茶況が厳しい時代に合わせた川根茶存続の方法を探している」と心境を明かします。

### 自分は渡し役で構わない

また、町に若手の就農者が少ない要因の一つに、専業農家が生計を立てることが難しいことを挙げる橋本さん。「兼業をしないと生活が成り立たない。この現実が就農希望者にはつらいこと」と苦しい胸の内を語ります。ご自身も他の農作物を栽培しながら茶業を営んでいます。「自分の就農スタイルを本手に若い農家が増えてくれれば良い。いろいろな世代の人と協力して川根茶を盛り上げていくことが目標」と川根茶の未来を見据えます。

最後に橋本さんは「この町で農業をやりたいと思う人が増えてくれれば良い。そんな人たちに茶業を伝え、次世代につないでいくための渡し役になっていきたい」と期待に胸を膨らませて話しました。

## 川根茶にかける「想い」次世代につなげるために

### 川根茶の今に目を向ける

「農業は支えてくれる人がいないと一人ではできない仕事」「農作物は手間を掛ければ掛けただけ応えてくれる」。今回、話を聞いた農家の方は皆一様にそう笑って話しました。

確かに茶業を取り巻く状況は厳しい、茶価の低迷による農業所得の低下、それに伴う後継者不足などの課題は本町も例外ではありません。

「昔と同じかそれ以上の品質で作ったお茶の価格が最盛期の3割程度」「子供に大変な想いをさせたくないから自分の代で最後」。その様な理由から離農者が増え、この町には放棄された茶畑が目立つようになりまし。た。「今の時代、平成初頭の頃の様な最盛期とは違います。質の良い茶畑を優先的かつ積極的に残していくことが、川根茶の存続につながる。長年、川根茶が築いてきた『高品質』というブランドを守ることが、今できることだと思います」と、横道

### 受け継いだ技術や伝統を若手農家に伝える

～interview-関係者の声～



中川根営農経済事業所  
横道 将さん

上質なお茶の生産が見込まれる茶畑を優先的に守っていき、言葉は悪いですが、生産性の低い茶園には見切りを付けることが重要です。農協としても農家の皆さんと協力しながら茶畑の管理を徹底し、新しい技術を伝え、そして、若い世代が就農したいと思えるように支援をしていきたいと思っています。

高齢化によって離農者が増え、後継者となる担い手も少ないこの町では、農業の伝統や技術が継承されず廃れてしまうことが一番懸念されることです。我々農協は、茶業を残していくため、技術や伝統を確実に次代の就農希望者に伝えていかなければなりません。

また、川根茶の存続のためには、

さんは力強く話します。茶業を残していくために、尽力している関係者の努力が、川根茶の「今」を守っているのです。

### 川根茶の未来を見据える

町の基幹産業の一つでもある茶業は、多くの方の努力や想いがある受け継がれてきました。「川根茶を後世に残していきたい」という茶業関係者の想いを私たちが共有していかなければいけません。また、「町が一体となって盛り上げていきたい」という想いは川根茶を「守って欲しい」よりも「守りたい」という強い気持ちが見れているのだと感じました。

川根茶が再び「日本一」という称号を獲得した今、私たちが次の世代につないでいくためには具体的に何ができるのでしょ。うか。川根茶の今を見つめ直し、未来について考えてみませんか。

特集「想い」守り継がれる茶業  
終わり



interview 1  
代表取締役に聞きました

## どのような会社か教えてください



静岡オーガニック  
抹茶株式会社  
代表取締役 杉谷 道也さん

- 中山産地の茶業再生・人材活性化、世界的な抹茶の産地化を目指します

● 当社は、有機抹茶を中心とした緑茶のグローバル産地を目指し、お茶の輸出拡大に取り組む複数の茶商と有機栽培に取り組む茶農家の方たちの共同出資によって設立された会社です。

● 国内外の消費者の有機抹茶に対する多くの需要に応えるために、川根本町と島田市、藤枝市を中心とした競争力のある生産体制を築き、有機抹茶の一大産地化を目指しています。

● この町を含む静岡県の中山間地域では、土壌や気候の特徴を生かした良質な茶の生産に取り組んできました。しかし、近年は茶の国内需要の減少に伴う茶価格の低下により、持続可能な茶業の継続が困難になっています。そのような問題を解決するために、川根本町を拠点に中山間地域の中核として取り組んでいきたいと思ひます。

● この町の茶業は商業、工業と一体となって地域の活性化のために取り組んでいくことが重要です。静岡茶の復権のために、地域社会に影響を与え、地元産品を国際社会に普及させるグローバルな事業を目指すとともに、持続可能な循環型農業を継承し、新しい市場を開拓していくように努めます。

interview 2  
社員に聞きました

## この町でお仕事していかがですか？

● 実家が茶業を営んでいることもあり、私もいつかお茶の仕事に関わりたと思っていました。

● 総務部として事務全般を担当していますが、わからないことがあれば関係会社の社員の方がていねいに教えてくれます。



総務・経営・事務  
生産グループ  
小平 未央さん

● 有機抹茶工場は近隣市町でも珍しく、この町の観光名所になるかもしれません。イベントなどを企画して、お茶の魅力を広く発信し、観光客を呼び込めればと思っています。そして地域の方たちと一緒にこの町を盛り上げていきたいです。

● この町の自然が大好きで自転車やバイクで何度も訪れていました。豊かな環境の中で仕事ができることに大変喜ばしく思います。

● 品質保証を管理する上で重要なことは、お客様の健康と安全を第一に考えることです。当社の有機抹茶を世界市場に輸出することも視野に入れていますので、国際基準に見合う品質保証規格の取得を目指しています。

● でも理念だけが先行してもいけません。まずは地域で作られたものが販売され、生産者の皆さんにしっかり還元されるように取り組んでいきたいです。



品質保証部長  
深井 克彦さん

# この町で豊かに働くということ



## 静岡オーガニック抹茶株式会社が有機抹茶加工工場を設立しました



● 9月20日、静岡県中西部の茶商や茶農家による共同出資会社「静岡オーガニック抹茶株式会社」が、青部地区に有機抹茶加工工場を設立し、操業を前に竣工式が行われました。  
● この日、近隣市町から関係者約100名が参加し、新たな施設の門出を祝いました。式典では、杉谷道也代表取締役が「皆さんの支援のおかげで今日を迎えることができました。有機抹茶の国際的な産地化を目指していきたい」と期待を込めて話しました。

● 当日挙行された竣工式には、鈴木町長をはじめ、工場設立に携わった関係者など約100名が出席し、工場の新しい門出を祝いました。

● 同工場は、国内外の有機抹茶の大規模需要に対応するため、本町と島田市、藤枝市を中心とした競争力のある生産体制を構築しようと、国の「産地生産基盤パワーアップ事業」の補助金を受けて設立され、10月から本格的に稼働しています。  
● 有機抹茶を必要とする国内外の飲食関連業者などに向けては、抹茶原料の供給や商品開発を行い、また、本町のような中山間地では茶業振興と人材活性化事業を展開していく予定です。



働くことの意義や喜び学ぶ

10/1 • 10/2

中川根中学校2年生が職場体験学習を行いました



初めての経験にも積極的に挑戦した中学生たち

中川根中学校の2年生19名が、町内の11か所の飲食店や企業、公共施設で様々な職業を体験し、働くことの喜びや大切さを学びました。

毎年中学生を受け入れている四季の里の嶋育子さんは「素敵な笑顔で接客をしてくれて本当に嬉しい。素直に取り組む姿勢に感激しました」と話しました。

品だしや接客などを体験した中村胡春さんは「初めてのことでばかりで大変だったけれど、お店の方がていねいに教えてくれた。この経験を今後の学校生活に活かしていきたい」と充実した表情で振り返りました。

10/12 日頃からフレイル（虚弱状態）予防を

住民の健康状態に合わせた栄養相談と運動が紹介されました



自分に合った体操を無理なく続けましょう

介護を必要とする一歩手前の状態を表す「フレイル（虚弱）」の予防に向けて、参加者の健康状態に合わせた体操の紹介と栄養相談会が山村開発センターで行われました。

相談会に参加した小澤勝明さん（藤川区）は「自分に合った体操を分かりやすく教えてもらえた。自宅でやってみよう」と笑顔で話しました。

体操指導をしたおとみりウマチ整形外科の大村拓巳理学療法士は「普段から負担にならない程度の運動をしてほしい。積み重ねがフレイルを予防することにつながります」と呼びかけていました。

10/13 ~ 10/16 子供たちの新しい一面を発見！

桜保育園と三ツ星保育園で「年中児保護者試食会」が行われました



桜保育園の給食の様子

町立保育園で、年中の園児たちの保護者を対象に「年中児保護者試食会」が行われました。

この日、保護者は各保育園に招かれ、子供たちと一緒に給食を楽しみました。

桜保育園の試食会に参加した佐々木奈保さん（小長井区）は、子供の様子を見て「配膳も片付けも自分でやっている姿に成長を感じました。普段自宅では見ることができない新しい一面が見られて良かった」と話しました。

いつもより大人しく給食を食べていた子供たち。「お母さんたちに良い格好を見せたかったのかな」と保育士の皆さんは驚きつつも笑って話しました。

口腔ケアで免疫力アップ 9/30

80歳以上で自前の歯20本以上を保つ健康的な方たちを表

山村開発センターで、70歳以上で自前の歯が20本以上ある方を対象に、「いい歯☆キラリ☆番人の歯コンクール」が行われました。

例年、6月の歯科衛生月間にあわせて開催されてきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で延期していましたが、それにもかかわらず13名の方が参加してくれました。

この日、渡邊克也歯科医を審査員に招いて、参加者の口内と歯の状態を審査して、特に健康的な方は表彰し、8020運動達成者には「8020バッジ」が授与されました。

渡邊歯科医は「口の中を健康に保ち、免疫力を高めることは新型コロナウイルス感染症予防の観点から、とても大切です」と参加者に呼びかけました。

今回、80歳以上の部（金の部）で1位になった植村哲司さん（瀬平区）は「定年後から毎年欠かさず歯の定期健診を受けるようにしている。これからも自分の歯を大事にしていきたい」と満面の笑みで話しました。

【審査結果】

- 80歳以上の部（金の部）  
1位…植村 哲司さん、2位…徳嶋 百合江さん、  
3位…山本 綾子さん
- 75歳以上の部（銀の部）  
1位…長嶋 忠さん、2位…鈴木 恒子さん、  
3位…梶山 恵美子さん
- 70歳以上（銅の部）  
1位…竹本 睦さん



渡邊歯科医の検査を受ける参加者

☆8020バッジ☆

80歳で自分の歯が20本以上ある方に！



皆さん満面の笑みでニコリ♪

平時からの備えを大切に 10/3

川根本町消防団による災害時を想定した訓練が行われました

川根本町消防団による山岳救助訓練と水防訓練が実施されました。

この日、高郷河川敷グラウンドで行われた水防訓練では、全分団の班長以上の団員約40名が参加。土のうの作り方や土のうを積み上げて浸水を防ぐ方法を学びました。

団員たちは、訓練を指導した有限会社大庭組の大庭勇司さんの「土のう作りはとても簡単です。いつでも作れるように日頃からの備えが大切」という呼びかけに真剣に耳を傾け、浸水時を想定しながら訓練に臨んでいました。



学んだ土のうの積み方を実践する消防団員たち



# 11 November 2020

## くらしのカレンダー

健康カレンダー・休日当番医・施設の予定などは、予告なく変更する場合があります。確認のうえお出かけください。

役場本庁 代表番号 ☎56-1111

- 1F 税務住民課**
- 税務室 ☎56-2223
  - 戸籍住民室 ☎56-2222
  - くらし環境課 ☎56-2236
  - 健康福祉課 ☎56-2224
  - 高齢者福祉課
  - 長寿介護室 ☎56-2234
  - 地域包括ケア推進室 ☎56-2225
  - 建設課 ☎56-2227
  - 会計課 ☎56-2228
- 2F 総務課** ☎56-2220
- 企画課 ☎56-2221
  - 情報政策課 ☎56-2232
  - 農林課 ☎56-2226
- 3F 議会事務局** ☎56-2229

総合支所 代表番号 ☎59-3111

- ほかに
- 1F 観光商工課** ☎58-7077
- 支所管理局
  - 窓口業務室 ☎58-7070
  - 支所管理室 ☎58-7073
  - 教育総務課 ☎58-2555
  - 社会教育課 ☎58-7080

- 文化会館 ☎59-3106
- 本川根B&G海洋センター ☎59-3332
- 山村開発センター ☎56-2231

### 今月の納期

国民健康保険料	第5期分
後期高齢者医療保険料	第4期分
水道使用料	11月分

11月30日(月)までに納めてください。口座振替が便利です。

※新型コロナウイルスの影響により、納税が難しい方は、特例による猶予制度がありますので、ご相談ください。

税務住民課 ☎(56)2223

**1** 赤口

☎ 上長尾田澤内科医院  
川根本町上長尾915-5  
0547-56-1800

★ B&G

**2** 先勝

榎原医師会健康診査  
(受付時間 13:00~14:00)  
田野口集会所  
☎ 一般外来 10:00~12:00

←

☎ 文化会館・B&G

**3** 友引  
文化の日

☎ 坂井医院  
島田市金谷都町10-1  
0547-45-2069

★ B&G

**4** 先負

定例乳幼児相談 9:30~11:00  
山村開発センター  
健康づくり相談 13:30~15:00  
山村開発センター  
☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 循環器外来 15:00~17:00

☎ 文化会館・B&G

**5** 仏滅

☎ 一般外来  
10:00~12:00/14:00~17:00

☎ マイナンバーカード申請タブレット  
本庁舎に設置

→

**6** 大安

乳幼児発達相談(要予約)  
山村開発センター  
☎ 一般外来  
9:00~12:00/14:00~17:00

**7** 赤口

☎ 一般外来 9:00~12:00

★ B&G

**8** 先勝

☎ 金谷平成クリニック  
島田市島534-1  
0547-54-5963

★ B&G

**9** 友引

榎原医師会健康診査  
(受付時間 13:00~14:00)  
山村開発センター  
☎ 一般外来 10:00~12:00

←

☎ 文化会館・B&G

**10** 先負

☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00

**11** 仏滅

☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 循環器外来 15:00~17:00

**12** 大安

☎ 一般外来  
10:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 心臓遠隔外来(要予約)  
14:00~17:00

☎ マイナンバーカード申請タブレット  
本庁舎に設置

→

**13** 赤口

ふれあいママ教室(要予約)  
10:00~11:30 文化会館  
☎ 一般外来  
9:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 脊椎遠隔外来(要予約)  
14:00~17:00

**14** 先勝

☎ 一般外来 9:00~12:00

★ B&G

**15** 仏滅

☎ 大下医院  
川根本町下長尾219-1  
0547-56-0019

☎ 文化会館・B&G

**16** 大安

☎ 一般外来 10:00~12:00

←

☎ 文化会館・B&G

**17** 赤口

榎原医師会健康診査  
(受付時間 13:00~14:00)  
下泉高齢者コミュニティ  
☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00

**18** 先勝

ことばの相談(要予約)  
山村開発センター  
☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 循環器外来 15:00~17:00

**19** 友引

あそびの教室 10:00~11:30  
山村開発センター  
☎ 一般外来  
10:00~12:00/14:00~17:00

☎ マイナンバーカード申請タブレット  
総合支所に設置

→

**20** 先負

地区健やか講座  
10:00~11:30 奥泉地区集会所  
13:30~15:00 大谷地区集会所  
☎ 一般外来 9:00~12:00  
☎ 整形外科遠隔外来(要予約)  
14:00~17:00

**21** 仏滅

☎ 一般外来 9:00~12:00

★ B&G

**22** 大安

☎ さくらい整形外科  
島田市金谷根岸町140-15  
0547-47-1500

★ B&G

**23** 赤口  
勤労感謝の日

☎ 休診  
☎ 鈴木内科医院  
川根本町徳山826-1  
0547-58-3100

←

☎ 文化会館・B&G

**24** 先勝

☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00

☎ 文化会館

**25** 友引

地区健やか講座  
10:00~11:30 久野脇集会所  
13:30~15:00 梅高集会所  
☎ 総合診療外来  
9:00~12:00/14:00~17:00  
☎ 循環器外来 15:00~17:00

**26** 先負

☎ 一般外来  
10:00~12:00/14:00~17:00

☎ マイナンバーカード申請タブレット  
本庁舎に設置

→

**27** 仏滅

2歳児・2歳6ヶ月児歯科検診  
(受付時間 12:50~13:15)  
山村開発センター  
☎ 一般外来  
9:00~12:00/14:00~17:00

**28** 大安

☎ 一般外来 9:00~12:00

★ B&G

**29** 赤口

☎ すぎもと耳鼻咽喉科クリニック  
島田市金谷東1丁目931番地  
0547-47-3387

★ B&G

**30** 先勝

健康づくり相談 9:30~11:00  
千頭東会館  
☎ 一般外来 10:00~12:00

☎ マイナンバーカード申請タブレット  
本庁舎に設置

☎ 文化会館・B&G

☎ …休日当番医  
☎ …いやしの里診療所  
☎ …休館日 ☎ …夜休館

マイナンバーカード申請を町職員がお手伝いしています

タブレット設置場所は… 毎月第3週は…総合支所  
その他の週は…本庁舎

**志太榎原地域救急医療センター (内科・小児科)**

診療時間  
月曜~金曜日 19時30分~22時  
土・日曜日 19時30分~翌日午前7時  
※ただし11月8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)の午後10時から翌日午前7時は小児科のみの診療です。  
☎054(644)0099

榎原歯科医師会からの  
ひと言アドバイス

自分の歯は、  
どんな形をしている??

歯並びは、人によって違います。  
自分の歯を1本1本見ながら、  
歯ブラシの向きを変えて  
しっかり磨きましょう。

健康福祉課 ☎(56)2224

健康づくりひとくちメモ

受けていますか?大腸がん検診

大腸がんは、早期では自覚症状がありません。また、早期発見・早期治療ができれば治りやすい病気です。早期発見のために40歳になったら毎年1回大腸がん検診を受けることをお勧めします。町の健診と一緒に受けることもできます。ご不明な点は、担当課までお問い合わせください。

**各種相談**

- ▶精神保健福祉総合相談(精神保健・断酒など)【要予約】  
11月10日(火) 13:30~(断酒会)  
中部健康福祉センター(藤枝市)  
☎054(644)9281
- ▶「行政相談」・  
社会福祉協議会「よろず相談」  
11月18日(水) 9:00~11:30  
中川根高齢者デイサービス相談所
- ▶法律相談  
11月25日(水) 9:00~11:30  
福祉センター
- ▶ひきこもり相談【要予約】  
祝日を除く毎週(月)(火)  
9:00~16:00 藤枝総合庁舎  
中部健康福祉センター福祉課  
☎054(644)9281
- ▶☎ 休日当番医の情報  
(一社)榎原医師会HP  
<http://www.haibara-med.or.jp/>
- ▶☎ いやしの里診療所  
☎(59)2102
- ▶子育て支援施設(日・月・祝日休館)  
ひだまり(藤川) ☎(57)2231  
こもれび(地名) ☎(56)2700



# 令和元年度 川根本町の決算状況を報告します

川根本町の令和元年度の決算が9月定例議会で認定されました。

一般会計と6つの特別会計の1年間の決算額は、歳入総額が82億3千2万円、歳出総額が79億8千358万円となりました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている町政です。昨年度はどれくらい収入があり、どのような目的で使用されたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

## ◆一般会計

令和元年度の歳入総額は55億9千210万円、歳出総額は53億9千599万円、差し引き2億151万円が本年度へ繰り越しとなりました。

歳入の状況をみますと、自主財源が19億315万円【△2億1千999万円】34.0%、依存財源が36億8千895万円【△3億257万円】66.0%となりました。

自主財源の内訳をみますと、町税は、減価償却の影響による国有資産等所在市町村交付金の減額が大きく影響したことにより、13億143万円【△3千70万円】で歳入全体の23.3%となりました。繰入金、財源不足を補うために財政調整基金の取り崩しを行いました。身の丈に応じた財政運営のため歳出額を抑制したことにより、前年度を大きく下回る1億5千312万円【△1億7千99万円】で歳入全体の2.7%

となりました。

依存財源の内訳として、地方交付税は、普通交付税の合併算定替え加算の段階的縮減により、24億2千812万円【△3千120万円】で43.4%となりました。町債は、平成30年度と比較して対象事業が減少したことにより8千444万円【△1億6千235万円】で6.9%となりました。

歳出の状況を性質別にみますと、経常的経費が41億2千288万円【△1億3千964万円】76.5%、投資的経費が7億4千304万円【△3億2千403万円】13.8%、その他の経費が5億2千467万円【△2千615万円】9.7%となりました。

経常的経費の主なものとして、人件費は、11億1千201万円【+657万円】20.6%で、国政選挙執行に伴う増を除けば前年度並み、扶助費は、対象者が減少したことにより減額となり2億8千3万円【△3千586万円】5.2%、公債費も合併直後の大きな起債の償還が完了したことにより減額となり6億3千832万円【△5千472万円】11.8%、物件費についても減額で14億311万円【△3千844万円】26.0%となりました。

投資的経費については、伝統文化伝承館の建設や寸暎トイレ・イベント広場の整備、碾茶工場建設のための産地パワーアップ事業といっ

## 町税の決算額

1人当たりの税額	
町民税 (2億8,322万2千円)	42,848円
固定資産税 (9億5,961万5千円)	145,176円
軽自動車税 (2,782万8千円)	4,210円
町たばこ税 (2,545万5千円)	3,851円
入湯税 (530万9千円)	803円
合計 (13億142万9千円)	196,888円

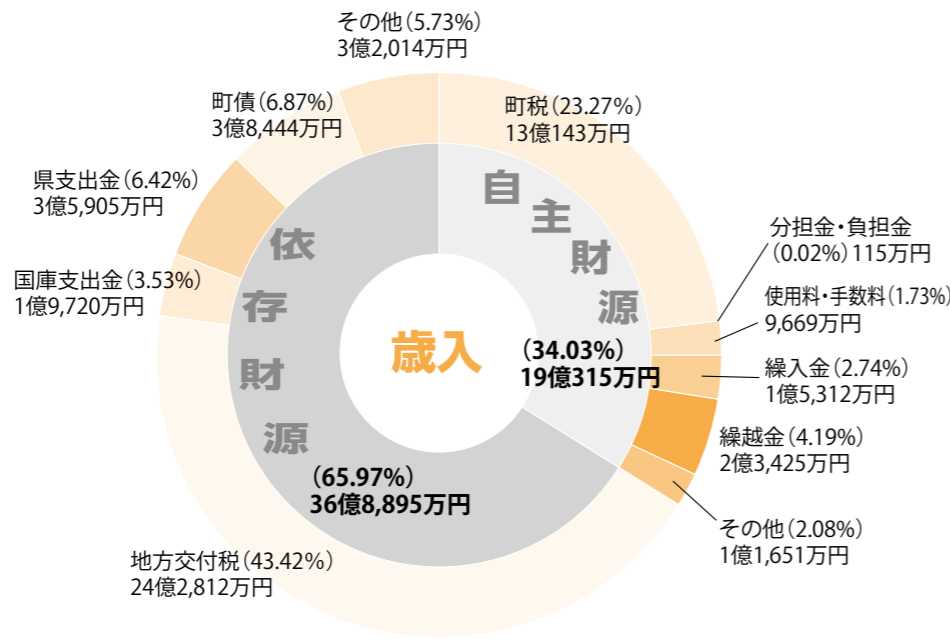
※一般会計決算額を令和2年3月31日現在の人口6,610人で割った額です。

令和元年度は、平成30年度に引き続き財源不足のため、財政調整基金を4千万円取り崩しました。身の丈に応じた財政規模に近づけるための予算編成を進めた結果、取崩し額は平成30年度の2億8千万円から大幅に減少してはいますが、基金には限りがあります。また、町税や地方交付税といった主要な財源は年々減少していくことが見込まれます。

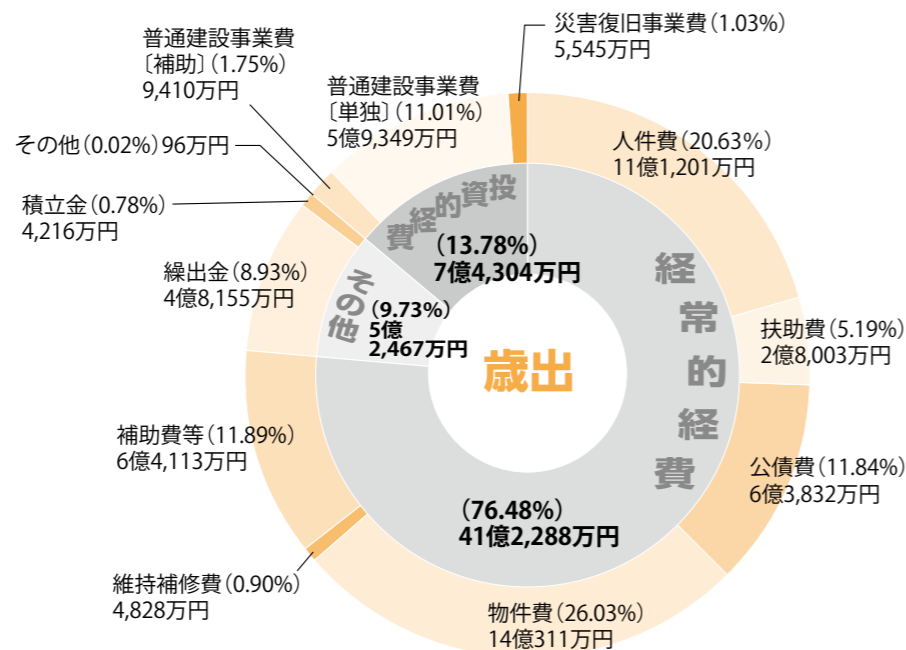
今後とも限られた財源や保有する資産を効果的に活用しながら、投資に見合った効果が見込まれるか、緊急性があるか、住民ニーズに合っているかといった視点で事業を見極め、戦略的な施策展開を図っていきます。

た大規模な事業が完了したことにより普通建設事業費が大幅に減少し、7億4千304万円【△3億2千403万円】13.8%となりました。

## 歳入 55億9,210万円



## 歳出 53億9,059万円



## 用語解説

### ☆歳入

#### ■自主財源・依存財源

町税や施設使用料など、町が自ら収入とすることができる財源が「自主財源」

地方交付税や国庫支出金・県支出金など、国や県から交付される財源及び借入金が「依存財源」

#### ■地方交付税

町の財政力に応じて国から交付されるお金

#### ■国庫支出金・県支出金

事業の財源として使い道が特定された国や県から交付されるお金

#### ■町債

事業を行うために町が国や金融機関から借りるお金

### ☆歳出

#### ■義務的経費

人件費や扶助費など、支出することが制度的に義務付けられている経費

#### ■扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費

#### ■公債費

過去に国や金融機関から借りたお金を返すための経費

#### ■物件費

施設の光熱水費や臨時職員への賃金、各種委託料などの経費

#### ■繰出金

一般会計から特別会計へ支出する経費

#### ■補助費等

事務組合や各種公益団体などに対する補助金等の経費

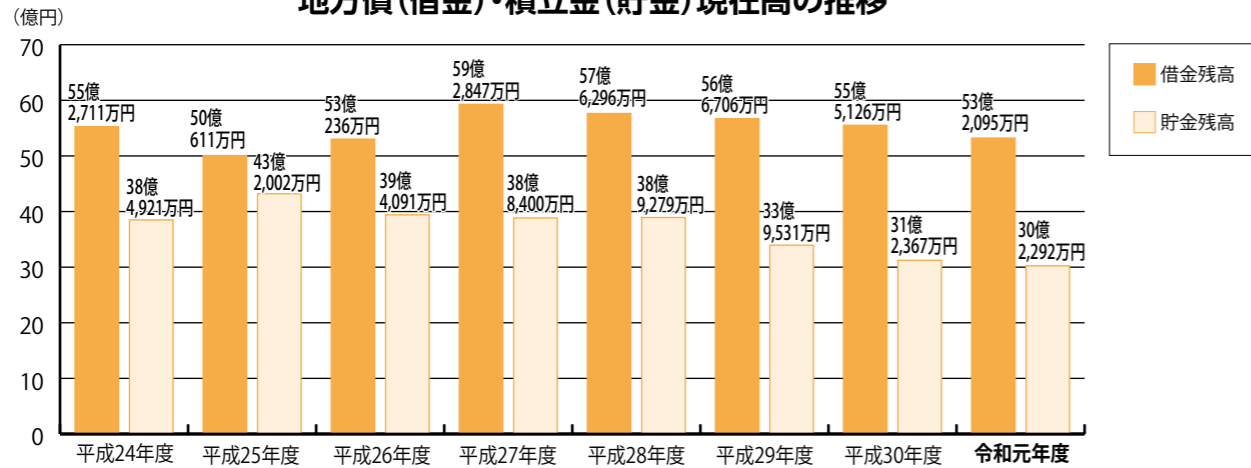


## 令和元年度 1年間の主な使いみち（一般会計）

◆ <b>議会費</b>	7,080万円	◆ <b>農林水産業費</b>	4億1,671万円
川根本町議会関係経費に	7,080万円	農林業センターの運営費として	3,914万円
◆ <b>総務費</b>	9億2,943万円	農業振興に（茶業振興を含む）	2,416万円
本庁舎・総合支所の維持管理経費として	3,651万円	茶茗館等の運営費として	2,927万円
自治会の振興のために	2,601万円	林道改良事業に	1億5,254万円
高度情報基盤の運営や庁舎内情報機器維持などの情報政策費として	1億4,077万円	林業振興に	5,325万円
◆ <b>民生費</b>	11億3,328万円	◆ <b>商工費</b>	3億1,921万円
国民健康保険事業特別会計への繰出金として	6,249万円	商工業振興費として	3,071万円
介護保険費（繰出金・補助金等）	1億9,822万円	観光事業として	1億7,156万円
後期高齢者医療費（繰出金・負担金等）	1億6,652万円	音戯の郷運営費として	4,744万円
障がい者福祉の充実のために	1億7,205万円	ウッドハウスおろくぼ運営費（指定管理委託料含む）として	861万円
外出支援など老人福祉サービスのために	1億1,345万円	もりのくに運営費（指定管理委託料含む）として	1,835万円
保育園の運営費として	1億7,515万円	ユネスコエコパークの普及・推進のために	733万円
子育て支援対策として	3,373万円	◆ <b>労働費</b>	184万円
子ども手当として	5,036万円	勤労者福祉の充実のため	184万円
◆ <b>衛生費</b>	5億5,191万円	◆ <b>土木費</b>	3億3,136万円
簡易水道事業特別会計への繰出金として	5,332万円	町営住宅の維持管理として	621万円
飲料水供給施設の管理・整備のために	1,091万円	町道や橋りょうの維持・改良事業のために	1億2,622万円
合併処理浄化槽補助金など環境衛生の向上のため	7,639万円	河川の改修、維持管理のために	1億5,537万円
母子保健・予防・各種健康診断のため	4,607万円	◆ <b>消防費</b>	2億6,984万円
町民の健康増進に	1,659万円	常備消防事業費として	2億0,027万円
地域医療推進費（医療機器購入など）として	4,394万円	消防団員の報酬や消防団の設備整備経費に	3,673万円
し尿処理のために	8,064万円	消防施設整備のために	738万円
ごみ処理のために	1億3,794万円	自主防災組織の活動助成など災害対策費として	2,547万円
◆ <b>教育費</b>	7億1,916万円	◆ <b>教育費</b>	7億1,916万円
通学バスの運営費として	4,348万円	通学バスの運営費として	4,348万円
小中学校管理、教育振興のため	1億5,040万円	小中学校管理、教育振興のため	1億5,040万円
若者交流センター等の運営費	1億3,951万円	若者交流センター等の運営費	1億3,951万円
生涯学習の推進のために	820万円	生涯学習の推進のために	820万円
資料館運営経費として	966万円	資料館運営経費として	966万円
学校給食のために	6,664万円	学校給食のために	6,664万円
海洋センター運営費として	5,075万円	海洋センター運営費として	5,075万円
社会体育施設の整備、維持管理のために	1,304万円	社会体育施設の整備、維持管理のために	1,304万円
◆ <b>災害復旧費</b>	5,545万円	◆ <b>災害復旧費</b>	5,545万円
町道、林道の災害復旧のために	5,545万円	町道、林道の災害復旧のために	5,545万円
◆ <b>公債費</b>	6億3,832万円	◆ <b>公債費</b>	6億3,832万円
町債の元利償還金として	6億3,832万円	町債の元利償還金として	6億3,832万円

注）決算の区分は地方財政状況調査に基づきます。

## 地方債（借金）・積立金（貯金）現在高の推移



## 健全化判断比率及び資金不足比率の公表

健全化判断比率	川根本町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	20.0%	30.0%
実質公債費比率	3.20%	25.0%	35.0%
将来負担比率	－	350.0%	

資金不足比率	川根本町	経営健全化基準
簡易水道事業会計	－（なし）	20.0%
温泉事業会計	－（なし）	

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、令和元年度の比率について、皆さんにお知らせします。

【実質赤字比率】  
一般会計等（本町においては「一般会計」と「いやしの里診療所事業特別会計」）の赤字の大きさを示すもので、収入から支出を差し引いた額を標準財政規模（※）で割り算して算出した数値です。

※標準財政規模とは、町が1年間に通常収入される町税や普通交付税などの一般財源の規模

### 【連結実質赤字比率】

すべての会計（本町においては、「一般会計」と「6つの特別会計」）における町の赤字の大きさを示すものです。すべての会計の赤字と黒字を合算した額を標準財政規模で割り算して算出した数値です。

### 【実質公債費比率】

1年間に町が地方債の返済に要した額の大きさを示すもので、返済額から普通交付税で国が負担してくれる額は控除されるため、実質的な持ち出し分が算出されます。年間の返済額から普通交付税で国が負担してくれる額を控除した額を標準財政規模で割り算して算出した数値です。

### 【将来負担比率】

町が将来負担すべき金額（現時点で支払いが約束されているもの）の大きさを示すものです。

負担額から普通交付税で国が負担してくれる額や町で保有している基金の額を控除した額を標準財政規模で割り算して算出した数値です。（この比率を算出する制度が開始して以来、令和元年度も控除額が将来負担を上回っているため数値としてはゼロとなりました。）

### 【資金不足比率】

町で運営している公営企業会計（本町においては「簡易水道事業特別会計」と「訪問看護事業特別会計」）の資金不足額の事業規模に対する割合を示す数値です。

### 【診断結果】

令和元年度決算では、昨年度同様、国で示す早期健全化基準を大きく下回っており、川根本町の財政状況は「健全」であると言えます。しかし、将来負担に備えるための基金等の蓄えが減少しているといった心配な材料もあります。今後も、健全な財政運営を続けていくために、将来の負担を見据え、身の丈に合った予算を編成していきます。

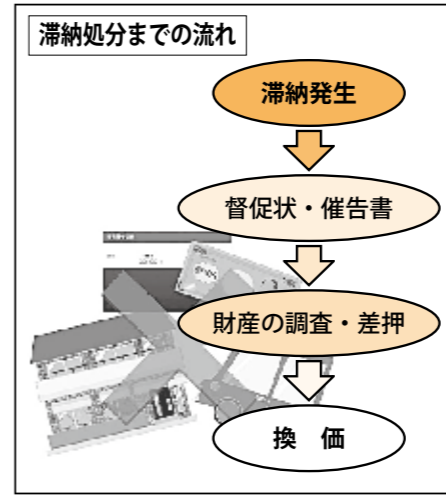


納め忘れはありませんか？

# 11月・12月は「滞納整理強化月間」です。

川根本町と県内すべての市町及び静岡県では、税の公平・公正を確保するため11月と12月を「滞納整理強化月間」として連携をおこない徴収対策を強化していきます。

本町でも、催告をしても納めていただけない滞納者に対し、預貯金、給与等の各種の差押をはじめとする滞納処分に取り組んでいます。



納付がまだの方は、金融機関または役場本庁及び総合支所で早目に納付してください。納付が困難なときは、まず役場税務住民課へご相談ください。

【問】税務住民課 ☎(56)22223

## 滞納するまでにできること、いろいろあります！

### ◎納付が困難な場合はまず相談を！

現在、「税金を滞納している方」、「生活困難や事業不振などにより今後不安を感じる方」は、早目に納税相談にお越しください。特に今年は新型コロナウイルスの影響により、収入に相当の減少がある場合には、「徴収猶予の特例制度」により、1年間の徴収の猶予を受けることができます。

### ◎便利な口座振替のご利用を！

町税などの口座振替は、利用者の指定した口座から自動的に振替納付ができる制度です。納付の度に役場や金融機関に出掛ける手間が省けるだけでなく、納め忘れることや、現金を持ち歩く必要がないので安心です。口座振替を希望の方は、役場税務住民課、総合支所窓口又は町内金融機関にある口座振替納付依頼書に必要事項を記入し、届出印を押印の上、提出してください。

### ◎徴収猶予の特例制度について

新型コロナウイルスの影響により、次の要件をすべて満たす場合には1年間、町税の猶予を受けることができます。

対象は令和2年2月1日(令和2年2月納期分)～令和3年2月1日(令和3年1月納期分\*)に納期限が到来するほぼ全ての町税です。

#### (特例制度を受ける要件)

- ・令和2年2月以降の任意の期間(1か月以上)において、事業等に係る収入が前年同期に比べて概ね20%以上減少していること。
- ・一時に納付することが困難であること。

(※) 令和2年9月4日の法律の一部改正により、従来の令和3年1月31日から変更になりました。

税務住民課 税務室 ☎(56)22223

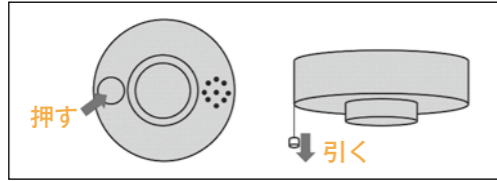
# 住宅用火災警報器の交換時期が来ていませんか？

## 住宅用火災警報器の交換目安は10年です！

住宅防火対策として、住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過したことから、定期的な点検を行うとともに、経年劣化した住宅用火災警報器等については、新たに置き替えるようお願いします。

### ◆住宅用火災警報器の作動点検方法

- (1) 点検ボタン(警報停止、点検、テスト等の記載のあり)を押すか、本体横から垂れている紐(またはリング状の引き紐)を引いてください。
- (2) 正常であれば、警報音やテスト音が鳴ったり、表示灯が点灯します。



火災警報器の作動点検方法

出典：静岡市消防局ホームページより

※警報音等のテスト音や表示灯の点灯は自然に止まります。

### ◆安心・安全のために住宅用火災警報器を設置していない方へ

#### ◎住宅用火災警報器を設置することは義務です

建物火災による死者のうち、住宅火災における死者が約9割を占めています。そのうち、約5割の方は逃げ遅れにより亡くなっています。また、高齢者の住宅火災の死者に占める割合が増えています。

これらの逃げ遅れによる死者をなくそうと、消防法の一部が改正され、新築住宅は平成18年6月1日から、既存の住宅にあっては、平成21年6月1日から設置が義務となっています。

- (3) 点検ボタンを押す等の点検動作を行っても作動しない場合、次のことが考えられます。(今一度、取扱説明書をご確認ください。)

- ① 電池切れや電池がしっかりとセットされていない
- ② 機器本体の故障(センサー不良等)



天井に取り付けるタイプの火災警報器



壁に取り付けるタイプの火災警報器

出典：静岡市消防局ホームページより

#### ◎住宅用火災警報器にはメンテナンスが必要です

住宅用火災警報器はただ取り付けられただけのものではありません。

住宅用火災警報器の感知部分にホコリなどがつくと、火災ではないのに警報が鳴ったりする(非火災報)恐れがあります。定期的に汚れやほこりをふき取るなどして、きれいな状態を保つようにしてください。

詳細は、町ホームページまたは静岡市消防局のホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

■川根本町 総務課 自治防災室

ホームページURL: <http://www.town.kawanenon.shizuoka.jp/soshiki/soumu/zichibosai/8598.html>

■静岡市消防局 消防部 予防課

ホームページURL: [https://www.city.shizuoka.lg.jp/630\\_000268.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/630_000268.html)

総務課 自治防災室 ☎(56)22220

毎月1回地元で古くから伝わる民話を「語り」紹介します。是非聞きにきてください。

1. 開催日時 令和2年11月15日(第三日曜日) 1回目 11:00~ / 2回目 13:30~
2. 開催場所 茶茗館
3. 語り手 澤井初美・奥野恵美子・勝川邦子  
(語り手は都合により変更する場合があります。)



中川根語り部の会「話楽座」(事務局/ 藪田はる ☎(56)0374)

◇11月のお買得品◇ やまびこジャパン 新ダイワチェーンソー特価キャンペーン! ☆☆☆☆☆



※ 廉価商品は対象外です ※

農機具の購入・修理・改造など、お気軽にご相談下さい。地域のお店だからこそ、丁寧に・迅速に対応致します。 **前田 機 材** 川根本町上長尾795-1 Tel・Fax 56-0006 IP 050-3363-2252



# 令和2年10月1日からロタウイルス感染症の 予防接種が定期接種になりました

☆ロタウイルス感染症とは…

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、乳幼児期にかりやすい病気です。

主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると入院治療が必要になることがあります。

☆ロタウイルスワクチンについて

ロタウイルスワクチンは、経口による接種を行う、飲むワクチン（経口生ワクチン）です。2種類のワクチンがあり、接種回数が異なりますが、有効性は同等と考えられています。

- ・対象者…令和2年8月1日以降に生まれたお子さん
- ・接種料金…無料
- ・ワクチンの種類

ワクチン名	接種回数	接種時期
ロタリックス (1価)	27日以上の間隔をあけて2回	生後6週から 生後24週まで
ロタテック (5価)	27日以上の間隔をあけて3回	生後6週から 生後32週まで

※初回接種は、生後6週から生後14週6日までに受けてください。  
※接種後1〜2週間後は、「腸重積症」の症状（突然激しく泣く、嘔吐を繰り返す、便に血が混じる、ぐったりして顔色が悪い、機嫌が良くなったり悪くなったりを繰り返す）に注意しましょう。

詳しくは担当課までお問い合わせください。

【問】健康福祉課 ☎(56)22224

健康福祉課 ☎(56)22224

農林課 ☎(56)22226

# 農業委員・農地利用最適化推進 委員を募集します。

町および町農業委員会は、現農業委員の任期満了に伴い、新しく農業委員と農地利用最適化推進委員を募集します。

◆募集について

農業委員 11名  
農地利用最適化推進委員 8名

◆委員の役割

農地法などの権限事務について審査および決定をします。

◆応募方法

①応募用紙 ②承諾書 に必要事項を記入し、農林課へご持参または郵送にてご提出ください。  
※町のホームページから①、②をダウンロードしてご利用ください。

〒4280313 榛原郡川根本町上長尾627番地  
川根本町役場 農林課 川根本町農業委員会事務局

◆推薦または応募の期間

令和2年10月20日(火)〜11月20日(金)

◆選考方法

応募された中から年齢、地域、経歴および農業経営の概況などを考慮し選考します。

◆委員任期  
令和3年2月21日〜令和6年2月20日

【問】川根本町農林課（川根本町農業委員会事務局）

☎(56)22226

e-mail: norin@town.kawanohon.lg.jp

# エコティ日記

エコティかわね 事務局員  
丸野宏夏の

から私たちのイベントでは1回につき10名前後のお客様をご案内しています。3密ではなく「内容を密」に、少人数のお客様へ向けて行うイベントです。

**現**在の旅行様式に合った方法があります。マイクロツーリズムとは、「自宅から1時間から2時間圏内の地元または近隣への宿泊観光や日帰り観光を指す」そうです。近場旅行の需要が増えたからこそ、身近すぎて知らない足元の魅力を再発見することが求められているのだと感じます。図らずもそれは私たちが従来から行ってきた体験の方法とも一致するところがあり、改めてこれからのイベントのあり方について考えた夏でした。

**工**コティかわねでは町民の皆さんにむけた体験も企画し

ています。遠くに行けないからこそ、自分たちの住んでいる町の資源に気付ける内容を考えていますので、ぜひ足を運んでみてください。

**ま**た地域の魅力を自分で人に伝えることができるようになります。地域の見方も変わってきます。地域の案内人講座や、ガイドの養成講座も随時実施しますので、そちらも興味がある方はぜひ参加してみてください。



SUP ガイド養成講座の様子

**某**感染症の影響でお休みしていた自然体験のプログラムを、8月からスタートしました。当初はどうなることかと思いましたが、終わってみればあっという間。8月だけで16のプログラムを実施していました。ほとんどが kayak 体験のお客様です。今夏はご縁があり、SUP(スタンドアップパドルボード)という水上のアクティビティができる仲間も増えました。そのため SUP のプログラムを企画したり、SUP ガイドの養成講座を実施するなど、新たな挑戦をできた夏でもありました。

**先**の見えない「新しい生活様式」での暮らしですが、従来



丸野宏夏(まるの ひろか)  
鹿児島県南九州市(旧知覧町)出身。平成26年4月より一年間、緑のふるさと協力隊として本町で活動。大学卒業後、屋久島のNPO法人に勤務した後、平成29年8月より川根本町まちづくり観光協会へ。平成30年からエコティかわね事務局員として、エコツーリズム推進の舵取り役!

**Eco-T Kawane**  
一般社団法人エコティかわね  
川根本町桑野山424-6  
電話:0547-58-7000  
ファクス:0547-58-7001  
E-mail:ecotkawane@gmail.com

◆川根のみきていとまるちゃんが綴る「ブログ版 川根本町エコティ日記」 <http://ecotkawane.eshizuoka.jp/>

## おいしい村をつくろう(美食革命)

「日本で最も美しい村」連合の加盟村として、景観や環境が美しいことはもちろんですが、「美しい村」であることも、重要な要素の一つです。

おいしい村とは、必ずしも高級食材を用いた料理があることや、一流のシェフがいることではありません。

地域には、その土地に根付いた食材や調理法などがあり、それらは地域の歴史や暮らしを物語ります。生産と消費が乖離する都会と比べると、食べるリアリティに違いがあり、それは地域の魅力であるはずで

私たち住民は、生産者であり調理者であり、また消費者である地域の食の持続的な担い手です。

食は、毎日数回の実践を伴います。個々の生活を見つめ直し、食べ物や食べ方の中で楽しみや豊かさを増やしていくことが、この町に住む私たちの幸せとなり、訪れる人にも魅力を与え、地域の食文化を支えつないでいくこととなります。

町内全員参加でおいしい村をつくりましょう。

企画課 まちづくり推進室 ☎(56)2221

## 自分らしく生きるためのデイサービス

**みずかわ**  
お気軽にお問い合わせください。 ☎:56-0808 住:川根本町水川295

## 総合食料品店 魚勇

ポイントカード会員様募集中!

- 特典① いつでもチャージ 1,000円単位から50K!
- 特典② いつでもチャージ 金額の5%分をサービス!
- 特典③ 誕生日の10%割引!

【お友達ポイント実施中!!】  
皆さまのご近所に「移動手段がなく当店にご来店できない」など、お買い物にお困りの方がいらしたら、ぜひ一緒に連れたいだければ助かります。その際、引率の方へ茶畑ちゃんカードのお買い物ポイントを5倍進呈させていただきます。

MEMBER'S CARD



## ■しずおか市町対抗駅伝競走大会目前に迫る!!



川根本町駅伝チーム選手候補者の皆さん(カテゴリ毎に順不同)  
**【小学生男子】**澤本健太(南部小6年)/北村哲也(第一小5年)/小林嶺(本川根小4年)  
**【小学生女子】**坂口月美(中央小6年)/澤本ひより(中央小6年)/瀧尾菜乃(南部小6年)/植田陽愛(南部小5年)/澤本真希(南部小4年)/中村夕海(本川根小4年)/植田愛奈(南部小2年)  
**【中学生男子】**瀧尾勇智(中川根中3年)/鳥澤圭佑(本川根中3年)/鳥澤光佑(本川根中3年)/澤本刻希(中川根中2年)/植田愛翔(中川根中1年)/小林翔流(本川根中1年)  
**【中学生女子】**澤本こころ(中川根中2年)/森脇詩史梨(中川根中2年)/北村よつ葉(中川根中1年)/前田心(中川根中1年)/村松明美(本川根中1年)  
**【高校生男子】**新湧利(川根高3年)/向島央(御殿場西高2年)/坂口天月(島田高1年)/杉山隆星(川根高1年)/山田達(川根高1年)/和田陽(島田高1年)  
**【一般男子】**山本崇博(川根高教諭)/鈴木龍弥(徳山)/和田新(田野口)  
**【一般女子】**石川愛理(千頭)  
**【40歳以上】**山下富士夫(崎平)/澤本浩光(下長尾)/山本忠広(徳山)  
 監督:山本銀男(下長尾) ヘッドコーチ:中野吉洋(川根本町役場)

12月5日(土)に、第21回しずおか市町対抗駅伝競走大会が開催されます。今年も7月から34名の選手候補者の皆さんが町の代表を目指して一生懸命練習を行っています。当日は代表12名がふるさとへの思いをたすきにかけ42.195kmを精一杯走りますので、皆さまの応援をよろしくお願いします。当日はSBSテレビやSBSラジオにて生中継されます。

- ・開催期日 12月5日(土) 午前10時 県庁前スタート
- ・チームナンバー 36
- ・ユニフォーム色 水色



◎皆様へお願い  
 今回大会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、現地での応援は控えていただきますようお願いいたします。

## ■毎年好評の「本のリサイクル市」を今年も開催します!!

いらなくなった本をご提供ください!ほしい本をお持ち帰りください!持ってくるだけ、持って帰るだけでもかまいません!眠っている本を再活用(リサイクル)する市です。本の持ち込み・持ち帰りは無料となります。

※漫画・雑誌・全集・百科事典及び破損本・汚損本は受入できません。持ち込みされた本は選定後、受入いたします(受入できない本はお返しいたします。また、受入後の処置はすべて図書室にお任せいただくことをあらかじめご了承ください)。

日時:令和2年11月22日(日) 午前9時30分~午後3時  
 会場:川根本町文化会館玄関ロビー



## ■すこやか大学開催のお知らせ

すこやか大学(おおむね70歳以上の町民が対象)の学習会が開催されます。

- 第3回学習会 11月5日(木) 北部地区 文化会館(午前9時~正午)  
 ☆山小屋の一日・ハーモニカと共に  
 講師:後藤智恵子さん  
 ☆山の写真とお話・物作り体験Ⅱバードコール  
 講師:榎田善行さん
- 第4回学習会 11月26日(木) 南部地区 山村開発センター(午前9時~正午)  
 ☆川根本町のお地蔵さん  
 講師:鈴木正文さん

◎すこやか大学に参加を希望される方は社会教育課までご連絡ください。  
 ☎(58)7080 FAX(59)4025

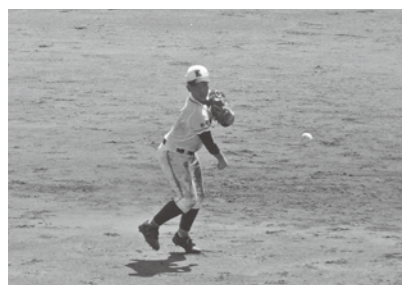
\*3つの密を避けての開催になります。新型コロナウイルス感染防止のため、学習会の開催日の変更もしくは中止になる場合があります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

**11月の展示** ※月末および月初めは、作品の入替え作業により、展示作品が変わる場合があります。  
 町民ギャラリー&文化会館  
**“社会教育課作品展”** (11/1~11/30)  
 (ふれあいスクール・むつみ学級・すこやか大学受講生作品)  
 皆さまお誘いあわせのうえご覧下さい!

## 川根高等学校の「今」を紹介する 学校レポーターズコラム



私達が競技しているカヌーは、静水にコースを設け、その区間で順位を競う競技で、カヤック、カナディアンの2つの種目があります。カヤックは、ブレード(水かき)が両端に付いたパドルで、座って漕ぎます。カナディアンは、片端にブレードが付いたパドルで、立ち膝で漕ぎます。私達が乗る艇は、一般的に使用されるレジャー艇とは違い、競技用のレーシング艇です。レーシング艇は、とても細長く、始めは丸太の上に乗っている様なイメージで、とてもバランスをとるのが難しいですが、1か月程度で乗れるようになります。川根高校カヌー部は、ほとん



どの選手が高校からカヌーを始めています。静岡県内にはカヌー部がある高校は2校しかないため、カヌーはあまり知られていません。しかし、全国では小学生の時からカヌーをしている地域もあります。小さい頃からカヌーをしている全国のトップ選手と対等に渡り合うためにも、日々の練習が欠かせません。今までの先輩方には、全国大会の表彰台に立った方もいます。そんな選手になれるよう、私達カヌー部はチーム一丸となり、全国大会での入賞を目標に練習に取り組んでいます。これからもカヌー部の応援をよろしくお願いします。

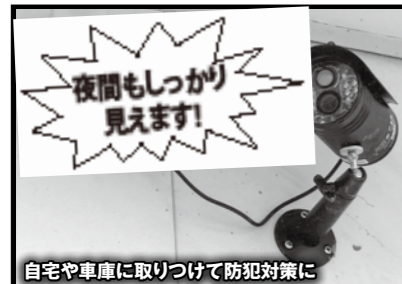
カヌー部部长 益田 蒼平



川根高校野球部は、2年生12人、1年生11人、計23人で活動しています。今のチームは、夏の大会の経験者が4人います。夏の大会では1回戦で敗退してしまいましたが、とても悔しい思いをしました。また、川根高校野球部は、ここ数年夏の大会で勝利することができていません。そこで、今年のチームは、全員が変化することを心がけて日々の生活を送っています。

来ていない時がありました。しかし、嫌だと思わずに、積極的に行動することで、自信をつけ、大事な場面でも力を発揮するために一人一人が意識して取り組んでいます。今では、チームの雰囲気もとても良くなりました。川根高校野球部は町の人達にとっても支えられています。自分達が恩返しできるのは一つでも多く勝利し、甲子園に出場し、川根本町を盛り上げることだと思っていますので、一生懸命頑張っていきます。

野球部部长 池谷 和樹



**!! 防犯カメラを取りつけてみませんか!!**  
 自宅や車庫、地域のセキュリティのために!!  
 防犯カメラの出張取り付け見積もりをいたします。自宅のモニターテレビで外の様子もしっかり監視できます。  
 信頼できる商品は、信頼できるお店で。  
**川根自動車株式会社**  
 川根本町上長尾869-2 ☎0547(56)0150



♡ご結婚おめでとう♡

地区	氏名	前住所
徳山	高梨 太	上長尾
	中原 瞳	千頭東

おくやみ申し上げます

地区	氏名	享年	届出人
藤川	塩崎 まさ	89	塩崎 浩己
八中	藤森 文江	81	濱谷 友子
瀬平	竹中 静子	91	竹中 繁雄
小長井	宮木 利治	88	宮木 光明
千頭東	大村 みよ	92	大村 格
上長尾	森脇 あい子	87	森脇 豊

■出生・婚姻された方については、本町に住所があり前々月に本町（本庁・総合支所）の窓口へ届出された分のみ掲載しています。  
 ■死亡された方については、本町に住所がある方で掲載を希望された分を掲載しています。  
 税務住民課 ☎(56)2222

川根本町の人口 令和2年10月1日現在

世帯数	2,862世帯 (-3)	出生	0人
総人口	6,547人 (-10)	死亡	9人
男性	3,209人 (-2)	転入	5人
女性	3,338人 (-8)	転出	6人

※( )内は前月比、右欄は前月中の異動 ※外国人の数を含む

編集幸記

「時代が変わっても、物の本質は変わらない。見極めが大事」という川崎好和さん（藤川区）の言葉が頭から離れませんが、広報紙の取材で、住民の皆さんと話し、写真を撮り記事にするの活動を続けてきましたが、これまでの取材活動で果たして、皆さんの想いをしっかりと捉え、知り、伝えるように表現できていたのか、振り返って考えています。皆さんからいただいた「思い」や「熱量」を確かに伝えることができるように、取り組みたいと思いを直しました。 梶山 拓郎

自立 探求心 ねばり強さを育む  
**本川根小学校** やまびこ自然教室  
 が行われました！

10月1日と2日の2日間に渡って、毎年恒例の学校行事「やまびこ自然教室」が本川根小学校で行われました。

この教室は、アマゴの放流やカレー作り、縦割り班ごとの地域探究活動などを通して、子供の「自立」「探求心」「ねばり強さ」を育むことが目的とされ、同校の宮島明利校長は「子供たち自身が考えて、行動することで競い合うように成長している」と目を輝かせて語りました。

プログラムのひとつに、同校が8年前から栽培している東日本大震災の被災地の「ひまわりの種取り大会」があります。このひまわりは卒業生の保護者である木村仁子さんが災害後にボランティアとして岩手県大槌町を訪れた際、地元の方から種を譲り受け、同校に寄贈したものです。

今年の6月に行った、木村さんとの交流会でひまわりのたくましさや震災の教訓を学んでいた子供たちは、次年度の栽培に向けてひまわりの種をていねいに採集していました。

やまびこ自然教室は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を延期していましたが、十分に予防策をとった中で、貴重な子供たちの成長の場の創造を意図し、新しいプログラムを取り入れた内容で実施しました。






【熱気球搭乗体験】初めての子どもは緊張気味に見上げていました

【交流会の様子】ひまわりのたくましさを感じる子どもたち

【アマゴの放流】成魚約300匹を放流しました

【ひまわりの種採集】ていねいに採集する子どもたち

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。  
 ご予約は電話にてお願いします。  
 (当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市栄町4-19（木材会館1F）  
 島田駅から徒歩1分  
 ☎0547-37-0431  
 診療時間：午前8時30分～12時、午後3時～6時  
 ※土曜日午後は5時まで  
 (休診日：水曜日、日曜日、祝日)

■本庁代表 ☎(56)1111  
 ■総合支所代表 ☎(59)3111

令和2年分青色決算等説明会  
 中止のお知らせ

島田税務署

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び参加される皆様の安全を考慮し、例年実施していましたが青色決算等説明会につきましては開催を中止することとしました。

ご不明な点等がございましたら、税務署までお問い合わせください。  
**【問】**島田税務署 個人課税第一部門  
 ☎0547(37)3124

第25回焼津青少年の家まつり  
 ～フェスタ石津浜～

静岡県教育委員会

地域の関係機関・団体との連携・協力のもと「みんなが集う青少年の家」づくりを目指し、地域コミュニティの推進を図ります。

**内容:**①プログラム体験部門…創作活動七宝焼、切り絵、プラバン、コッププラバン、ロープなべしき、ロープストラップ、ひも人形など  
 ②申込型の体験部門(ワークショップ)…内容については検討中  
**日時:**令和2年11月22日(日)  
 午前10時～午後3時まで

※部門ごとに実施時間が異なる  
**会場:**静岡県立焼津青少年の家  
**対象:**どなたでも

**参加費:**無料(創作活動参加者は実費)  
**申込方法:**ホームページから指定の申込みフォームへ入力

**申込期間:**10月21日(水)午前9時～11月15日(日)午後4時  
 ※各ワークショップで定員に達し次第申込み終了。

**【問】**静岡県立焼津青少年の家  
 ☎054(624)4675  
 ※新型コロナウイルスの感染状況により、内容などが変更となる場合があります。

安心グッズ(災害時消耗品)とボランティアを募集します！

静岡県ボランティア協会

第36回ボラ協のしずおか福祉バザール in シズウェル  
 『思いやりをつなげよう！ボラ協あったかまつり』

令和2年12月5日(土)に開催予定のしずおか福祉バザール in シズウェルで提供する災害時に助かる安心グッズ(災害時消耗品)と準備ボランティア、当日ボランティアを募集します。

ご希望の方は、事前にボランティア協会にご連絡ください。

品物の提供とボランティアへの参加、会場にお越しいただくことが、活動の大きな支えになります。ご協力よろしくお願いいたします。

**1. 安心グッズの募集について**  
**募集期間:**令和2年11月18日(水)まで  
**募集物品:**シャンプー、除菌シート、レトルト食品など  
 ※いずれも新品で、自身がもらって嬉しい状態の物をご寄付ください。

**2. ボランティアの募集について**  
**①準備ボランティア**  
**準備期間:**11月11日(水)～20日(金)  
 午前10時～午後3時  
 ※平日のみ  
 ※ご都合の良い時間で結構です。  
 ※参加人数が集中した場合は、調整します。

**会場:**シズウェル2階 ボランティアビューロー  
**内容:**安心パックの袋詰め など

**②当日ボランティア**  
**バザール当日:**12月5日(土)  
 午前8時30分～午後4時  
 ※ご都合の良い時間で結構です。  
 ※一日活動される方は、昼食をご用意いたします。

**会場:**シズウェル1階  
**内容:**まつりの設営・運営・片付けなど  
**お問合せ・品物提供先:**  
 特定非営利活動法人 静岡県ボラ

ンティア協会  
 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70  
 静岡県総合社会福祉会館シズウェル2階  
 ☎054(255)7357  
 FAX 054(254)5208

しずおか・みんなで子育て応援！  
 ～それぞれの子育てで、人と人のつながりで応援します～  
**ふじさんっこ応援キャンペーン**

静岡県健康福祉部こども未来課

期間中、キャンペーンサイトにおいてふじさんっこ応援隊の活動動画を公開します。しずおか子育て優待カードに協賛している店舗、施設からのプレゼントが当たるお買物キャンペーンも実施しますので御応募ください。

**期間:**11/1(日)～11/30(月)  
**URL:**ふじさんっこ子育てナビ  
<https://www.fujisancco.pref.shizuoka.jp>

キャンペーン特設サイト(11/1公開)  
<https://www.fujisancco.com>  
**【問】**県健康福祉部こども未来課  
 ☎054(221)3485

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間  
 ひとりで悩まず、相談してください

静岡県方法務局

夫・パートナーからの暴力やストーカーなど女性の人権でお困りの方は、お電話ください。

**期間:**令和2年11月12日(木)から11月18日(水)までの7日間  
**時間:**午前8時30分～午後7時  
 ただし、土・日曜日は午前10時から午後5時まで

※なお、強化週間以外の期間においても、左記の電話番号で、平日の午前8時30分から午後5時15分まで相談を受け付けています。

☎0570-070-810  
 (ゼロナナゼロのホットライン)  
**主催:**静岡地方法務局、静岡県人権擁護委員連合会

墓石・燈籠・各種石材加工

藤田石材店

川根本町上長尾861-35 ☎・🌐0547-56-1177  
<http://www.citydo.com/sp/0547-56-1177>

広告募集

広告掲載に関するお問合せは、  
 情報政策課までお願いします。

電話 0547(56)2232  
 FAX 0547(56)2235



## 定形外 便り



「川高出身の教育実習生  
と川根留学を支えた人」  
文：川根高校魅力化コーディネーター  
(地域おこし協力隊)  
伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方等へのインタビューを交えてご紹介します。

研究授業を終え安堵している水嶋桃香さんに、以前とは違う立場で立った教室で、川根生当時のことを聞きました。

入学のきっかけは、川根本町の地元中學生との交流。学生たちの人柄や礼儀正しさに触れ、自分も一緒に学びたいと強く思い、新しい環境に飛び込んでみたそうです。寄宿舎がまだなく、徳山地区のお宅での下宿生活でしたが「成人式で振袖姿を見せにこちらに来るくらい、大切な方々」と生活面でも貴重な交流ができたと言ってくれました。

そして今、教員を目指し教育実習に川根高校に来てくれました。「この先生たちといつか一緒に働きたい！」と生徒だった時に思い、高校の教員になることを決めました」と語る彼女には、この町や学校で過ごした時間が、今と未来につながっているのだと感じました。

### ともに過ごした時間が これからも続く絆になる



水嶋さんも3年間お世話になった直里さんのご自宅前で

「もうひとり孫ができたみたい。最初は不安だったし、大変なことはもちろんあったけど、3年間受け入れてよかった」と直里哲次さん・千香子さんご夫妻は、下宿先として水嶋さんと過ごした日々を話してくれました。

休日と一緒に過ごせる時間は多くはなかったようですが、日々の小さなことから大学合格発表のときのこと等、たくさん思い出をにやかな笑顔を交わしながら語られました。とにかく元気な水嶋さんがいたことで、自分たちが元気をもらった・若返ったとおっしゃられたのが印象的でした。

お互いへの感謝と笑顔の声が、直里さんご夫妻・水嶋さんともに自然と伺えたのが、今も続く関係の証なのだと思います。



## 川根留学での出会いが 今と未来へつながる

平成26年度に始まった川根留学。第1期生が、川根高校へ教育実習生としてやってきてくれました。川根留学生として過ごした当時のことや今を、下宿先として受け入れてくださった方のインタビューも交えて紹介します。



授業準備で悪戦苦闘！  
でも充実した時間だったと語る水嶋さん



### 伊神花織 (いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！



川根高校のフェイス  
ブックページ

伊神さんが更新  
川高生の様子から  
授業での豆知識  
まで発信

